

国民監視制 マイナンバー 反対

住民登録をしているすべての人に十二桁の番号を付け、個人情報を利用するマイナンバー制度。来年一月からの運用を前に、通知カードの遅配、誤配など早くも混乱しています。

本当の目的は？

政府はマイナンバーの利用範囲を当面、社会保障や税金、災害対策の三分野とし、その目的として「国民の利便性の向上」「行政の効率化」をあげています。しかしその一方で、政府による国民への監視・管理が強まり、所得や資産だけでなく様々な個人情報も収集され、プライバシーの侵害につながる危険な側面も指摘されています。

大企業は大儲け

そもそも何のために国民が望んでもいないこんな制度をつくったのでしょうか。

政府は、行政の効率化によって年間二千四百億円の削減効果が見込まれると公表しましたが、国会でこの試算に根拠のないことが明らかになっています。その一方で、同事業の発注をめぐり厚生労働省の役人が贈収賄で逮捕されるなど、国民の不安、不信は高まる一方です。

組合の方針

政府は番号制の初期費用に三千億円、稼働費用を年三百億円としています。最近、政府が設置した検討会議のメンバーを務める委員の企業が発注額の九割を独占的に受注していることが判明、まさに官民癒着の温床になっています。

情報保護は？

政府は法律で利用範囲を限定しているのに、安心・安全が確保されていると強調しています。ところが、日本年金機構が管理しているシステムが不正アクセスを受け、百二十五万人分の年金データが流出したことが明らかになりました。

マイナンバー情報は年金情報よりもはるかに「情報価値」が高くなります。お楽しみに。

エアケミ運輸支部

建交労宮城県本部幸栄運輸支部の相澤さんから、栃木県本部まで機関紙記事への投稿がありましたのでご紹介します。

組合の方針

個人番号厳重保管を通知カードを免許証などと一緒所持しない。個人番号カードは紛失、盗難等のリスクがあり、特に必要な人以外は申請しない。確定申告書への個人番号記載は必要なく、記載しなくても受理されます。

組合は極力組合員の個人番号に関わらないようにします。建設国保、雇用保険、労災保険等の手続きで組合員の個人番号を取り扱う場合は、法令に基づき厳格に保管、破棄します。制度の運用、利用範囲の拡大に反対します。

県本部委員長は通知カードの受領を拒否しませんが、自分の番号を知らない国民は今後どうなるか、随時レポートします。お楽しみに。

「去る十月十一日、大阪市天満PLP会館において、第三十三回建交労全国酸素部会の定期総会が開催されました。」



2015年10月11日/PLP会館 第33回全国酸素部会総会



定期大会を終えた支部の仲間たち。討論時間は3時間にも及びました。

フコックス支部および新潟分会による合同定期大会が、十月三十一日から十一月一日にかけて、新潟県南魚沼市にある石内ユングパルナスにて開催されました。大会では、建交労中央方針、県本部方針、そして全国セメント生コン部会方針について討論が行われました。雇用とくらしを守るには、組合活動を停滞させては不団結になる。職場内でインシアチブを取るのには建交労しかない、各職場で奮闘する仲間から発言がありました。

松原運輸争議

松原運輸で働いていた菅谷組合員の業務災害による使用者責任を求めた裁判は、十一月十一日の第九回期日より合議制になりました。毎回、傍聴支援参加者が駆けつけ、裁判の行方を見守っています。裁判では、会社による安全配慮義務違反が存在したことや、役員実態を示す運転日報やデジタルコなどの労働実態を証明する証拠を処分したことから、細かく実態を説明しなければならぬ内容となっています。

秋の地域総行動

十一月二十四日、県内各地で「秋の地域総行動」を展開しました。午前中は、地域労連を中心に自治体要請、行政機関要請などを実施しました。午後からは県央の行動として、栃木県労連を中心に、栃木県や栃木労働局、足利銀行本店、NHK宇都宮放送局、東京電力栃木支店などへ、組合員や民主団体の仲間たちと要請行動を実施しました。

フコックス支部および新潟分会による合同定期大会が、十月三十一日から十一月一日にかけて、新潟県南魚沼市にある石内ユングパルナスにて開催されました。大会では、建交労中央方針、県本部方針、そして全国セメント生コン部会方針について討論が行われました。雇用とくらしを守るには、組合活動を停滞させては不団結になる。職場内でインシアチブを取るのには建交労しかない、各職場で奮闘する仲間から発言がありました。

新大会では、建交労中央方針、県本部方針、そして全国セメント生コン部会方針について討論が行われました。雇用とくらしを守るには、組合活動を停滞させては不団結になる。職場内でインシアチブを取るのには建交労しかない、各職場で奮闘する仲間から発言がありました。

新大会では、建交労中央方針、県本部方針、そして全国セメント生コン部会方針について討論が行われました。雇用とくらしを守るには、組合活動を停滞させては不団結になる。職場内でインシアチブを取るのには建交労しかない、各職場で奮闘する仲間から発言がありました。

新大会では、建交労中央方針、県本部方針、そして全国セメント生コン部会方針について討論が行われました。雇用とくらしを守るには、組合活動を停滞させては不団結になる。職場内でインシアチブを取るのには建交労しかない、各職場で奮闘する仲間から発言がありました。

日祥地労委情報：十二月二十一日、午後一時十五分から山岸社長の証人尋問があります。傍聴席は十四席です。社長からどんな証言が出てくるのか。当日は是非、一人でも多くの方が傍聴に来てください。